

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

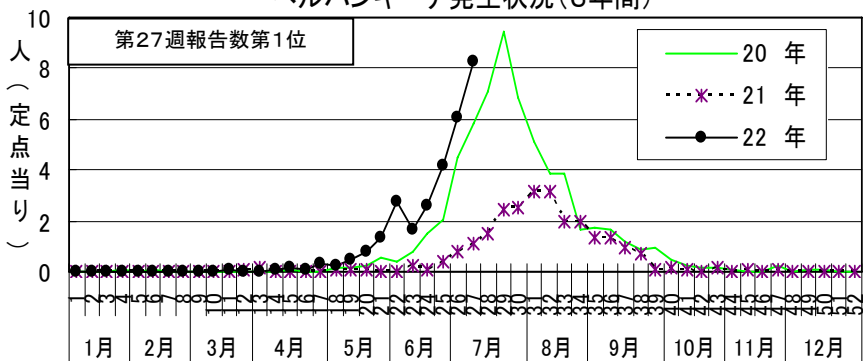
平成22年7月5日（月）～7月11日（日）〔平成22年第27週〕の感染症発生状況

第27週で報告数の多かった疾病は、1)ヘルパンギーナ 2)感染性胃腸炎 3)手足口病でした。

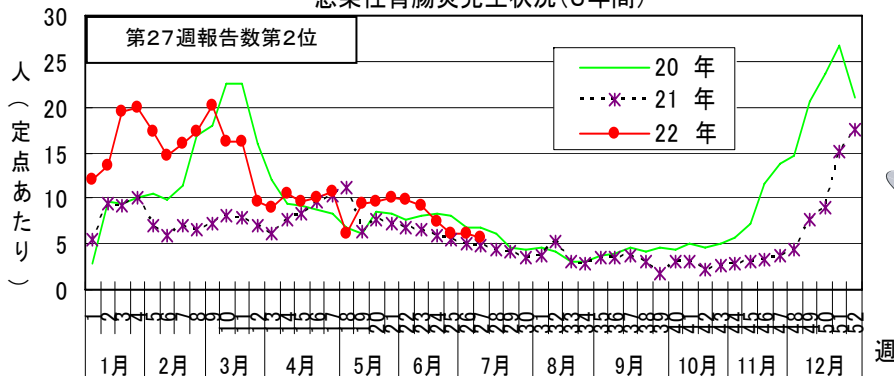
ヘルパンギーナは定点あたり8.30人と前週（6.09人）に比較して患者数は大幅に増加しており、区別でも川崎市以外の全ての区で流行発生警報基準値（定点あたり6人）を超えております。流行性耳下腺炎は2週連続で患者数が増加し、定点あたり1.09人となっており、第1週から第26週までは過去5年平均の同時期と比べて少ない報告数でしたが、第27週は過去5年平均を超えております。

細菌性赤痢の届出が1件（推定感染原因及び地域：アジア地域への渡航）ありました。

ヘルパンギーナ発生状況(3年間)



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



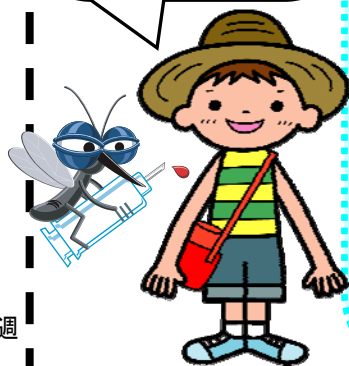
☆いよいよ夏休み！！でも感染症には気をつけて☆
～蚊に刺されて感染する病気 ①デング熱～

これから夏本番！海外旅行を計画されている方も多いと思います。ただし、海外は言葉や食文化が異なると同時に、かかってしまう可能性のある感染症の種類も日本と異なります。

渡航される地域の生活環境や衛生環境を見極めて、楽しい旅行となるように、感染症にかからないための対策を身につけましょう。



外出時は、なるべく半袖ではなく、長袖を着るようにしましょう。虫除けスプレーも忘れずに！！



デング熱～蚊に刺されないための対策～

蚊が媒介する感染症の中で最も多い報告数となっているのがデング熱です（平成22年第26週現在、全国の累積報告数は62件）。デング熱は、デングウイルスというウイルスの感染によって発症し、熱帯・亜熱帯地方（特にアジア・オセアニア・中南米）において多く患者が発生しています。主たる媒介蚊はネッタイシマカですが、ヒトスジシマカも原因となります。

●潜伏期間：3～14日（通常4～7日）

●症状：突然の発熱で始まり、頭痛・筋肉痛・関節痛・全身倦怠感を伴うことが多く、食欲不振、腹痛、便秘を起こすこともあります。発症後、3～4日後に胸や背中から始まる発疹が出現し、手足・顔面へ広がります。これらの症状は1週間程度で消失し、通常、後遺症なく回復します。

ただし、デング熱とほぼ同様に発症して経過した患者の一部において、突然に、出血傾向を主な症状とするデング出血熱となり重症化することがあるので注意が必要です。

●予防法：蚊に刺されることによって感染します。人から人への感染はありません。また、ワクチンがないので、蚊に刺されないことが唯一の対策となります。蚊が特に多く発生する夕方から夜間にかけての外出には、虫除け剤や蚊取り線香の使用、長袖、長ズボンの着用等により、蚊に刺されないようにしてください。